

飼料の管理は十分ですか？ カビに注意願います。

今般、対 EU 輸出食肉の残留物質モニタリングにおいて、牛の尿検体からゼラノール誘導体が検出され、当該牛の飼養農場の飼料（国産稲わら）から「飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律」第 23 条に基づく管理基準を超過したかび毒ゼアラレノンが検出されたことから、当該飼料が給与されたことが原因とされました。

ゼラノールは生育増進ホルモン剤として使用される場合もあり、ゼアラレノンとともに牛の成長や繁殖に影響を与えるとされています。また、今回のようにモニタリング物質が検出された場合、農場の調査や対応措置を報告する必要性が生じます。飼料（ワラ、稲WCS）を適切に管理して、カビの発生防止に努めましょう。

カビの発生や腐敗の防止のポイント （ワラや稲WCSを調製・保管する場合の注意事項）

- ラップサイレージは排水が良好で平坦な場所（コンクリート盤や砂利の上など）に保管しましょう。
- カビの発生が見られる場合は、カビが発生した部分を完全に取り除いてから給与しましょう。
- 稲WCS作製時に、材料草とラップフィルムの間に空気が侵入すると、糸状菌が増殖して腐敗します。また、輸送時にロールを変形させないように丁寧に取り扱いましょう。
- 鳥害、ネズミ害対策を行うとともに、ラップフィルムが破損した場合は、速やかに補修しましょう。

